

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	後期	片橋 るみ		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	2	21	
科目概要							
柔道整復の臨床理論の知識を身に付ける。 肘関節部・前腕部等の骨折、脱臼、軟部組織損傷について理解し、発生機序、特徴、症状、治療法等を説明できるようにする。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	肘頭骨折、肘関節脱臼、肘内障、野球肘、上腕骨外側上顆炎、橈骨骨幹部骨折、モンテギア骨折、コーレス骨折など肘部から前腕部の外傷を学ぶ授業である。各損傷における発生機序、分類、症状治療法等について理解し、説明できるようにする。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)						
1. 肘頭骨折の筋と転位の関係を選択できる。 2. 肘関節脱臼、肘内障の発生機序を選択できる。 3. 野球肘の分類と発生機序を選択できる。 4. 外側上顆炎の疼痛誘発テストが選択できる。 5. 橈骨骨幹部骨折の筋と転位の関係を選択できる。 6. モンテギア骨折の特徴、転位、注意点を選択できる。 7. コーレス骨折の転位と変形が選択できる。							
履修に必要な予備知識や技能							
医学用語の基礎知識 運動器の解剖							
教科書・参考書							
柔道整復学理論編・実技編 解剖学							
受講上の注意							
"私語は慎むこと スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておくこと 復習が大切です。"							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
中間試験50% 期末試験50%							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	前腕部の解剖と機能 前腕骨近位部の骨折			p.427 pp203-206	筆記用具		
第2回	肘頭骨折			pp206-208	筆記用具		
第3回	前腕部の解剖と機能 橈骨骨幹部骨折			p.429 pp208-210	筆記用具		
第4回	ガレアジ骨折 尺骨骨幹部骨折			pp210-212	筆記用具		
第5回	モンテギア骨折 橈尺両骨骨幹部骨折			pp212-217	筆記用具		
第6回	手関節部の解剖と機能 橈骨遠位端部骨折			p.430 pp217-219	筆記用具		
第7回	コーレス骨折			pp220-221 p.428	筆記用具		
第8回	スミス骨折			pp221-222	筆記用具		
第9回	バートン骨折 ショウファー骨折 橈骨遠位骨端線離開			pp222-224	筆記用具		
第10回	ショウファー骨折 橈骨遠位骨端線離開			pp223-224	筆記用具		
第11回	試験				筆記用具		
第12回	肘関節の解剖と機能 肘関節の脱臼			p.426 pp310-312	筆記用具		
第13回	肘関節の脱臼			pp312-314	筆記用具		
第14回	肘内障			pp314-315	筆記用具		
第15回	肘関節部の軟部組織損傷			pp361-362	筆記用具		
第16回	肘関節部の軟部組織損傷			pp363-365	筆記用具		
第17回	前腕部の軟部組織損傷			pp365-366	筆記用具		
第18回	前腕部の軟部組織 末梢神経損傷			pp366-368	筆記用具		
第19回	前腕部の軟部組織 末梢神経損傷			pp368-369	筆記用具		
第20回	試験				筆記用具		
第21回	解答解説				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院、整形外科クリニックでの勤務、研修での経験を通して、講義します。							
メールアドレス							
katahashi@nihonisen.ac.jp							